

主な講師紹介

農業分野における経営指導・人材育成を実践している、経験豊富な講師陣が集結!



庄司 和弘 氏

内閣府食の6次産業化プロデューサー レベル4認定/キャリアアカウンセラー(日本キャリア開発協会認定CDA)/一般社団法人日本経営士会 経営士(経営部門)/NPO法人ハーベスト常務理事/ホライズンコンサルティンググループ株式会社 代表取締役/ホライズンローバルトレード株式会社 代表取締役



四本 和臣 氏

株式会社K3ロジスティクス 代表取締役/6次産業化プランナー/有機JAS認定主任審査員/ISO22000-HACCP審査員補/食品供給研究センター認定食農連携コーディネーター/元日本経済大学非常勤講師



権堂 千栄実 氏

株式会社Campanula 代表取締役/キャリア教育コーディネーター/キャリアアカウンセラー/農林水産省の6次産業化に関するキャリア教育事業に関わる社内教育カリキュラムの開発や仕組みづくりが専門(2011年8月～現在)



松本 謙 氏

株式会社ファーマーズ・フォレスト 代表取締役社長/食の6次産業化プロデューサー レベル4認定/中小企業診断士/食品供給研究センター認定食農連携コーディネーター/平成24・25・26年度農林水産省6次産業総合推進事業 民間企業等派遣研修プロジェクトチームメンバー・検討委員



石倉 憲治 氏

日本薬科大学非常勤講師/日本経済大学非常勤講師/滋賀県調理短期大学非常勤講師/長浜市指定管理者選定委員会・委員/公益財団法人江北図書館評議員

受講のお申込・お問合せ

TEL:03-6734-1260

株式会社パソナ農援隊(担当:佐藤,名塚) Email agri@pasona-nouentai.jp

FAX:03-6734-1269

この研修事業の申込URL <https://pasona-nouentai.co.jp/event/180>



FAX申込書

●現地開催かオンライン開催のどちらかをお選びください。 現地開催 オンライン開催

●参加される研修にを入れてください。

強化研修(2.5日間) アドバンス研修 ミニ強化研修(1.5日間) 現地指導(3時間)

体験型経営術(1.5日間) 起業ゲーム(1.5日間) 専門講義(6時間)

ふりがな		年齢	歳	性別	男性・女性
氏名					
〒					
ご住所					
連絡先	TEL: - - 携帯: - - FAX: - -	E-mail		@	
所属組織・経営体名及び役職		希望日程			
本研修を何て見て知りましたか?					
受講の目的					
現在指導において解決したい課題					
その他(研修で聞きたいこと等)					

※本応募用紙に記載された内容は、個人情報として厳密に管理するとともに、本研修に係る業務及び弊社からの情報提供以外に使用することは一切ありません。

現地開催と
オンライン開催
にて実施

参加費無料 [農林水産省補助事業 令和2年度 農業人材強化総合支援事業のうち 農業経営者育成教育2 指導者向け研修]

明日の農業人を育成する、指導者の皆さまへ 指導力強化発展研修会のご案内

受講対象者

- ◎農業大学校教員等の地域の農業経営者育成を担う指導・支援従事者
- ◎各県庁の農業大学校を管轄する担当者、担い手支援担当者、普及指導担当者
- ◎新規就農者を受け入れている農業指導者 ◎農業高校・農業系大学の指導従事者等

受講のお申込はメール、FAX、電話にて随時受付中

農業経営者の育成に不可欠な総合指導スキルを身につける!

現地開催とオンライン開催

のいずれか2パターンで実施できます。

- ご希望の日時・場所で開催できる7種類の研修
- メンタースキルの取得、農業経営に関する指導力、経営者機能とその能力の応用

現地強化研修

2.5日間

- 強化研修(2.5日間)を現地に講師が赴き実施します。県内・学内等の指導・支援従事者の方々に広く受講頂くことが可能です。

体験型経営術

1.5日間

- 中期経営計画の策定・実行を**ボードゲーム**で**模擬体験**(グループワーク)しながら学ぶことで、**経営をさらに深堀り**し、指導の幅を広げます。

アドバンス研修

2.5日間

- 強化研修受講後に、指導・支援を現場で実践した際の課題をもとに、**指導計画をブラッシュアップ**します。
※受講対象:これまでの強化研修受講者等

起業ゲーム **NEW**

1.5日間

- クラウドツールを用いチーム毎に仮想企業を立上げ、年間の売上をゲーム感覚で競いながら事業収支とマネジメントを学ぶ研修。

ミニ強化研修

1.5日間

- 限られた人数で地域の支援に当たり多忙な受講者の利便性、さらなる参加しやすさを追求し、「**経営指導力**」の**ポイント**に絞り期間を1.5日実施します。実施地域は、宮城県仙台市及び、その他現地(2箇所)で、3回実施します。

専門講義

1日間で6時間程度

- 2つのテーマを開講します。いずれかを選択ください。
A 学習理論に基づいた指導法
B スマート農法、リモートワークを踏まえた授業作り

現地指導

3時間

- アドバンス研修に参加できない本研修会の受講者に対してのフォローや**現場に向くことで明確化する課題**に対してのフォロー、また受講者とその同僚等と一緒に現地指導することで**現場が抱える課題に応じた指導**を実施致します。

※体験型経営術は、オンライン開催の実施不可となります。

★中面で具体例を紹介!

令和2年度は、

現地開催とオンライン開催にて実施!

- ① 昨今の情勢を鑑みて、集合研修は一時休止といたします。
- ② 現地での実施とオンラインでの実施を、どちらか選択いただけます。
- ③ オンラインでの研修については、具体的にはZoomなどのオンラインツール(遠隔コミュニケーションツール)を使用した研修を行います。

受講のお申込は
メール、FAX、
電話にて
随時受付中

その際、「ブレイクアウトルーム(Breakout room)」という参加者同士が会話できる機能を使い、グループワークも実施いたします。

オンラインでの研修実施の場合、日数・時間帯についての変更はございませんが、PC画面での研修受講の観点から適宜、休憩時間を設けます。また一旦オンラインから退出いただき、セルフワークを実施、その内容をその場でFAXし、研修内で講師からすぐにフィードバックを受けていただくなど現地で研修と遜色なく演習を行えるようなカリキュラムを組み立てています。

強化研修

研修時間:2.5日

1日目 12:30-18:30

- ・学生の主体性を引き出す「メンター」とは
- ・農業の担い手育成に向けた「キャリア教育」の必要性
- ・学生へのキャリア支援スキルを身につける
- ・学生の主体的な行動を促す授業の進め方、指示の出し方(講義だけでなく、グループワークにより実践的に習得します)

2日目 9:00-18:30

- ・農業経営の基礎知識を身につける(経営階層、マーケティング)
- ・活躍する農業経営者による講義(現場から見た農業経営力の必要性等、講義後、講師による解説があります)

3日目 9:00-17:10

- ・経営に関する計数を理解、活用できるようになる
- ・他産業経営者による講義(他産業での人材育成制度、関連産業から見た農業)
- ・学生指導計画書の作成

アドバンス研修

研修時間:2.5日

1日目 12:30-18:30

- ・強化研修の振り返り(指導能力編)
- ・指導の実践手法の深掘り~指導の課題の把握~
- ・指導の実績手法の深掘り~課題を踏まえた指導方法~
- ・育成計画の再構築

2日目 9:00-18:30

- ・強化研修の振り返り(経営能力編)
- ・多様化する農業経営スタイルに応じた経営管理のポイント等
- ・財務知識の復習 個別原価計算の仕方
- ・損益分岐点比率の計算の仕方 中期経営計画の立て方

3日目 9:00-17:10

- ・ケースメソッド(実際の事業計画をもとに経営分析を行う)
- ・先進農業経営者講演
- ・指導計画書の作成演習及びブラッシュアップ



専門講義カリキュラム

研修日数1日 研修時間数:6時間(360分)12:30~18:30を想定

- ① 学習する、指導するということの基礎 ※シラバスなど、授業構成がわかる資料(レジメ)を再査すること。
研修概要:文部科学省の学習指導要領の参考にもなっている「学習理論」を基にして、人の学びや指導の基礎を解説しています。

時間	テーマ(項目)	内容
12:30~13:00	●オリエンテーション	・事務局連絡、会場案内・研修の目的、タイムスケジュールの紹介・講師自己紹介・アイスブレイク(BOR使用)・グループ内での自己紹介(氏名、所属、参加目的)
13:00~14:30	●講義&グループワーク 1. 産業の変化と教育の変化 学習理論の系譜を基に、人の学びのメカニズムを確認。 産業の変化が思考の変化、教育の変化に至っていることを再確認する	●講義 ・産業の変化と教育の変化・産業界の変化による、学習理論の変化・学習理論の系譜を使って講義・学びのメカニズムを確認する ●演習 グループワーク (BOR使用) ・指導者の学習理論の変化によって、子どもの変化を分析・産業界の変化について考える ・次世代の農業人材に求める力を明確化する
14:30~16:20	●講義&グループワーク 2. 農業メンターのキャリア教育 学習理論とキャリア教育の関係性を確認 学生に経験を構築させる指導法を学ぶ	●講義 ・学習理論とキャリア教育の関係性を確認 ・キャリア教育に取り入れられる指導法の違い(ティーチング、ファシリテーション、コーチング、コミュニケーションの違いと活用方法について) ●演習 グループワーク (BOR使用) 最大4人で1グループとする・現在の授業内容を用いて、学生に
16:20~17:20	●講義&グループワーク 3. 演習 指導法の解説 グループで作成した指導法を発表 参加者同士で意見交換を行い、内容をブラッシュアップする	●演習 グループワーク (BOR使用) ・演習 指導法の発表を行う。
17:20~18:20	●講義&グループワーク 4. 効果測定 グループで作成した指導法を発表 授業の効果性を測る。	●講義 授業の効果測定の見方について ●演習 グループワーク (BOR使用) ・自分が考えた指導の結果を測定する指標を考える ・考えた指標を全体発表 指標のブラッシュアップを行う。
18:20~18:30	●総括	・講師より総括

- ② スマートフォンやビデオ動画、リモートワークを活用した授業づくり ※シラバスなど、授業構成がわかる資料(レジメ)を用意すること。

時間	テーマ(項目)	内容
12:30~13:00	●オリエンテーション	・事務局連絡、会場案内・研修の目的、タイムスケジュールの紹介・講師、受講者自己紹介(所属、氏名、参加目的)(BOR使用)
13:00~15:00	●講義&グループワーク 1. 授業分析 現在のシラバスを用いて、座学、演習などの授業要素を分析する	●講義 ・授業分析、授業の作り方について講義 現在のシラバスを用いて、座学、演習などの授業要素を分析する 授業目当てに到達するための、アプローチの仕方を確認 ●演習 グループワーク (BOR使用) グループで各自持参したシラバスを活用し、授業構成を分析する ●全体発表 各グループワークの内容を発表
15:00~17:00	●講義&グループワーク 2. 指導手法を考察 各自の授業構造を客観視し、授業作り(指導力)をブラッシュアップする	●講義&ディスカッション (BOR使用) ・参加者が分析した要素を用いて、効果的な授業ツールを考える ●演習 グループワーク (BOR使用) ・指導手法の見直し・発表内容や講義内容を参考に、各自が考えた授業ツールを活用した、授業内容を再度討議する。 ●全体発表 各グループワークの内容を発表
17:00~18:20	●講義&グループワーク 3. 新たな指導手法 動画、zoomを使った授業の作り方を講義 グループで考えた授業を題材に、実際にスマートフォンなどで各自が考えた授業を録画し、それを全員で視聴し、相互検討します。	●講義 ・動画授業やzoomを使った授業の作り方を講義 ●演習 グループワーク (BOR使用) ・2で考えた授業を題材に、実演のシナリオを作成する 質疑応答
18:20~18:30	●総括	・講師より総括

現地研修(現地指導)の具体例

例1 対象	農業大高校の新任教員	例2 対象	農業大高校の校長から若手教員まで	例3 対象	新任の普及指導員	例4 対象	管理職の普及指導員
	学生の思いややる気を引き出す方法や、社会人に必要なスキルについて講義。教員の現在の悩みに応じた「傾聴ワーク」も実施		「入試合格のボーダーラインをどのように設定すべきか」をテーマに、農業大高校で育成する人材像、育成の方向性の認識を共通化		自身の普及活動事例についてのプレゼンをもとに、講師から「わかりやすい話し方」「わかりやすい文書の書き方」を指導		若手農業者・若手普及指導員への指導やキャリアデザインの方法をグループワークを通じて学び、若手世代の特徴等を理解

研修対象者を限定したり、個別課題を設定したり、御要望に合わせた組立・アドバイスが可能

受講者の声(強化研修)

- 今後の学生指導の場面で活かせる研修内容だった
- 研修を通じて個別の指導計画を作成でき、指導カリキュラムの作成に役立つ
- 地域課題の解決方法としても応用できる
- 企業の農業戦略をもとに、新規就農者にアドバイスができる

すべての現地研修の開催については、
オンライン開催でも実施可能です!
(グループワーク、セルフワークの実施方法が一部異なります。)

※実施時間は受講者の人数やワークの進行状況により多少前後します。